

平成27年度 事業報告書

社会福祉法人

鎌ヶ谷市社会福祉協議会

平成27年度 事業報告

社会福祉を取り巻く状況は、少子高齢化の進展や家族形態の多様化、コミュニティ機能の低下が進むなど、公的な制度だけでは解決できない、様々な問題が発生しています。

こうした中で、本会は、地域福祉を推進する中核的団体として、住民参加や協働による福祉活動への支援、さらに、福祉のまちづくりを積極的に推進し、「誰もが生きがいを持ち 支えあえる まち」の実現のため、市民ニーズに応じた事業に努めました。

また、地域に密着した民間の福祉団体として、地区社協事業への支援や、高齢者並びに障がい者が、自立して生活を送るための支援として、日常生活自立支援事業の充実に努め、成年後見講演会等を実施しました。

次に、障がい福祉事業としては、12月に市内の障がい者施設及び団体の発表の場として、「すまいる祭り」を開催するとともに、障がい者の通所施設、「福祉作業所 友和園」の指定管理を受託し、本年度でその期間が終了しましたが、平成28年度も引き続き、指定管理者として管理運営を、5年間行うこととなりました。

平成27年度に実施した事業内容につきましては、下記のとおりです。

1 法人運営

(1) 会務運営

◎理事会

第1回 平成27年5月21日（木）

- ・平成26年度事業報告について
- ・平成26年度決算について
- ・評議員の同意について

第2回 平成27年12月10日（木）

- ・理事・監事・評議員選任規程の一部改正について
- ・評議員の同意について

第3回 平成28年3月17日（木）

- ・定款の変更について
- ・平成28年度事業計画案について
- ・平成28年度予算案について

◎評議員会

第1回 平成27年5月26日(火)

- ・平成26年度事業報告について
- ・平成26年度決算について
- ・理事の選任について

第2回 平成28年3月24日(火)

- ・定款の変更について
- ・平成28年度事業計画案について
- ・平成28年度予算案について

◎内部監査 平成27年5月12日(火)

- ・平成26年度事業報告
- ・平成26年度会計決算諸表

(2) 社協会費の納入状況

①一般会費	9,647,560円(28自治会)
②法人会費	473,000円(101件)
③施設・団体会費	215,500円(54件)
合計	10,336,060円

○自治会へ福祉事業費として、2,396,000円を支出し、地域活動の推進に寄与した。

(3) 援護事業と福祉団体等への支援

- ・市内に火災による災害が発生したため、全焼4件、死亡2人に対し見舞金を交付した。
- ・法外援護費(帰宅旅費)を10名に払出した。
- ・民生委員児童委員協議会事務局として、会務の運営、専門部会活動への協力及び関係行政等機関との連絡調整に努めた。また、千葉県民生委員児童委員協議会や全国民生委員児童委員連合会が主催する研修会等への参加を図るなど、民生委員の資質の向上に寄与した。
- ・遺族会の会務運営に協力した。
- ・民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会等、福祉関係団体に469,000円を助成し、その活動を支援した。
- ・市内全小中学校(14校)に福祉活動助成金として、一校当たり、50,000円を助成し、福祉教育(校内環境美化、高齢者との交流、福祉募金活動等)の支援に努めた。

- ・福祉健康フェアの開催に協力した。
- ・すまいる祭りの開催。(280名参加)

2 地区社会福祉協議会事業

地域福祉活動の中核的組織として、高齢者から子どもまでの地域住民を対象とした事業を、6地区ごとに広報、ふれあい交流、在宅福祉、ボランティア育成などの各委員会が中心となり展開した。

○ 中央地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報	地区社協広報紙 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・「まごころ」(約5,800部)を年2回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
ふれあい交流	茶話会	<ul style="list-style-type: none"> ・70歳以上の方を対象に、健康指導・体操、ゲーム、江戸東京博物館へのバスの旅及び「新年会(お琴演奏鑑賞)」等で交流した。 (年6回延べ241名参加)
在宅福祉	お年寄りとの交流会 介護予防教室	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者の方を対象に、4つの地域で各援護グループの協力を得て、交流会を実施した。(年8回延べ428名参加) ・地域の方を対象に健康体操やウォーキングを実施した。(年3回延べ141名参加)
ボランティア育成	鎌ヶ谷中学校JRC委員会と地域の方との交流会 ボランティア研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・百人一首・認知度クイズをしながら交流を図った。(45名参加) ・運営委員を対象に手話教室を2回。運営委員と地域の関係者を対象に成年後見制度講演会を実施した。(年3回延べ89名参加)

実行委員会	ふれあいサロン	<ul style="list-style-type: none"> 月に一度、地域のお年寄りや小さなお子さん連れの親子など、「誰でも気軽に集える場所」を目的にサロンを開催した。 (年12回延べ321名参加)
-------	---------	---

◎見守りパトロール <通年、4委員会で月毎に実施した。>

◎鎌ヶ谷中学校の行事招待状配布に協力した。(高齢者との交流)

○ 中央東地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報	地区社協広報紙 福祉健康フェア ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> 「おもいやり」(5,500部)を年2回発行。 地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。 ホームページを運用して地区社協事業等の啓発に努めた。
ふれあい交流	ひょうたん祭り 運営委員研修会 地区ふれあい祭り <クリスマス会> バス研修会	<ul style="list-style-type: none"> 模擬店、昔あそびコーナーを担当した。 運営委員に加え、地区関係者を対象に「日常生活自立支援事業等について」研修会を実施した。 (90名参加) 高齢者、障がい者、子どもを対象に手作りパーティーを実施した。(263名参加) 運営委員と地域のボランティアを対象に、朝日新聞東京本社を見学するなど交流した。 (38名参加)
在宅福祉	介護予防教室 援護グループ研修会	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方を対象にウォーキング講習、健康体操等を実施した。(年5回延べ172名参加) 援護グループを対象に車いす体験を実施した。 (33名参加)
ボランティア育成	ボランティア支援活動 青少年福祉活動 五本松小ふれあい会	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特別養護老人ホームにて定期的にボランティア活動「シーツ交換」を行った。 (年9回延べ161名参加) 初富・五本松小学校、第5中学校、鎌ヶ谷高校の児童生徒がひとり暮らしの高齢者の方へお便りを出す事業及び手すきハガキ作り体験を実施した。(年3回延べ93名参加) 五本松小学校3年生と高齢者との交流会を実施し

	初富小ふれあい会	た。(22名参加) ・初富小学校4年生と高齢者との交流会を実施した(20名参加)
部 会 活 動	あじさいグループ (ミニリハビリ教室)	・障がいのある方を対象にお花見、ゲーム、歯科講習等を行った。(年11回延べ177名参加)
	サロン事業(翔友会)	・お花見、流しそうめん、「介護保険の話」などを行った。(年12回延べ382名参加) ・特別養護老人ホーム(翔裕園)との情報交換を行った。(年3回)

○ 東部地区社会福祉協議会

	事業名	内 容
広 報 啓 発	地区社協広報紙 チラシの発行 福祉健康フェア	・「ふれあい」(8,300部)を年2回発行。 ・子ども見守りチラシを年1回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
地 域 交 流	東部ふれあいまつり ふれあい福祉まつり 移動児童館協力 バス研修	・利用団体サークル発表会に参加。(1,941名参加) ・老人クラブ、談話室の発表、鎌ヶ谷高校吹奏楽部の発表会を開催した。(950名参加) ・道野辺小、東部小児童対象に移動児童館事業に協力した。(年3回延べ268名参加) ・運営委員と個人ボランティアを対象に介護施設等を見学した。(39名参加)
健 康 福 祉	健寿歩こうかい グラウンドゴルフ 元気アップ講座 ミニリハビリ教室 「ほのぼの会」	・健康維持のために実施した。 (年2回延べ52名参加、雨天中止1回) ・高齢者を対象に実施した。(62名参加) ・地域の方を対象に体力チェック、お話、レクリエーション等を行った。(年4回延べ130名参加) ・障がいのある方を対象に、血圧測定、体操、ゲーム等を行った。(年12回延べ462名参加)
育 成 研 修	地区ふれあい員研修会 ちよいボラの会研修会 救命講習 青少年育成	・認知症について研修会を行った。(128名参加) ・美と健康のお話を聞き話し合いをもった。 (38名参加) ・AED講習を行った。(32名参加) ・東部小、道野辺小学校児童を対象に「手作りおも

		ちやで遊ぼう」を実施した。(74名参加)
その他	東部地区懇談会 講演会 避難所運営研修会 東部地区避難所運営訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・第二中学校、道野辺小学校、東部小学校、各自治会長、地区社協役員、鎌ヶ谷警察、民生委員等と地区懇談会を開催した。(25名参加) ・地域の方を対象に成年後見制度について、講談と弁護士による制度説明を実施した。(130名参加) ・シュミレーションとして「HUG」ゲームを実施した。(56名参加) ・自治会、市役所、災害ボランティア連絡協議会、東部地区社協で実施した。(200名参加)

(ちょいボラの会)

<実績>ゴミだし 313 件、話し相手 19 件 (合計 332 件)

○ 西部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報	地区社協広報紙 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・「あけぼの」(3,600部)を年2回発行。号外版(事業計画掲載)を1回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
地域交流	もちつき大会 昔遊びの会 春のおたのしみ会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、地区ふれあい員の方に協力をお願いし、もちつきを行った。<西部地区ふれあいまつりと同時開催。>(393名参加) ・くぬぎ山児童センターと共催でこま、羽子板等を行った。(67名参加) ・地域の70歳以上の方を対象に、日舞、西部小、第三中学校の演奏を実施した。(272名参加)
在宅福祉	オレンジ交友会 (認知症予防の会) 高齢者支援教室 在宅介護者のつどい	<ul style="list-style-type: none"> ・脳トレ、ゲーム等を行った。(年4回延べ151名参加) ・「学ぼう認知症」、「認知症予防と介護保険」をテーマに講演会を開催した。(年2回延べ93名参加) ・介護をしている方の悩みごとの話し合いと笑いヨガによるリフレッシュ事業を実施した。(年2回56名参加)

ボ ラ ン テ ィ ア 育 成	体操講習会 バス研修 わかば (健康作りの会) ウォーキング 講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に国際武道大学の先生を招いて講習会を実施した。(44名参加) ・運営委員と地区ふれあい員を対象に、本所防災館を見学し、交流を図った。(33名参加) ・きらり鎌ヶ谷体操、講師による体操教室を開催した。(年4回延べ132名参加) ・健康増進のために、くぬぎ山コミセンから新鎌ヶ谷方面で実施した。(37名参加) ・西部小学校と共催にて「災害救助犬について」講演会を開催した。(214名参加)
そ の 他	ミニリハビリ教室 (こぶしの会)	<ul style="list-style-type: none"> ・くぬぎ山地区の70歳以上の方を対象にカラオケ、ゲーム、血圧測定等を行った。(年9回493名参加)

○ 南部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
総務	地区社協広報紙 福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・「なんぶだより」(約6,100部)を年2回発行。 ・地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
在宅福祉	さわやかライフ倶楽部 高齢者バスハイキング 地区リハビリ教室 (さくら会) 子育て支援 秋のおたのしみ会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を対象に、健康体操を実施した。(年4回延べ176名参加) ・一人暮らしの高齢者を対象に、成田山に行くなどし交流を図った。(42名参加) ・障がいのある方を対象にグラウンドゴルフ、健康講和、お話し会等を行った。(年12回延べ143名参加) ・食育、人形劇等を実施した。(年3回延べ49組参加) ・談話室と保育園の交流会を行った。(125名参加)
事業	(災害時支援部会) 南部ふれあいの集い 防災倉庫点検 (地域交流部会)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署等の協力を得て防災訓練を開催した。(80名参加) ・防災備品の使用確認等を行った。(12名参加)

	道野辺保育園交流 南児童センターとの交流 南部芸能交流大会 南部いきいきサロン 公民館まつり参加 グランドゴルフ大会	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇の手入れや園行事の参加をとおして園児との交流を図った。(年5回延べ15名参加) ・ゲーム大会、春まつり等に参加し交流を図った。(年2回延べ5名参加) ・老人会対象に実施した。(92名参加) ・地域の方をを対象に喫茶コーナーを設け交流を図った。(年4回延べ220名参加) ・健康相談、喫茶コーナー、活動展示で地域交流を行った。(822名参加) ・地域の方を対象にグランドゴルフをとおして交流を図った。(96名参加)
	(なんぶ孫の手会部会) ボランティア研修会 孫の手バス研修 のびのびルーム支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティア(ゴミ出し304、施設ボランティア等141)活動を行った。(年間445件) ・ボランティア入門講座に参加した。(18名参加) ・リサイクル工場見学を実施した。(42名参加) ・運動会、クリスマス会等に参加した。(15名参加)
その他	慈祐苑の納涼祭支援	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子の介助ボランティアとして参加した。(23名参加)

○ 北部地区社会福祉協議会

	事業名	内容
広報	地区社協広報紙	<ul style="list-style-type: none"> ・「北部地区社協だより」(3,000部)を年2回発行。
ふれあい交流	ふれあいお楽しみ会 ふれあいバスハイク おせんべい焼き	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交流と閉じこもり防止を目的に、おしゃらく踊り、花笠会、八丈太鼓等で交流を図った。(60名参加) ・ひとり暮らしの高齢者対象に、成田山等へ行き交流を図った。(32名参加) ・栗野コミュニティセンターの事業に協力し、おせんべいを焼いたり、昔あそびを通して、交流を図った。(60名参加)

在宅福祉	介護予防教室	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯を対象にスポーツインストラクターによる軽体操、栄養士による食生活についての講話等を実施した。 (年3回延べ141名参加)
	友愛訪問	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯(518名)へ品物を持って訪問し、安否確認を実施した。
ボランティア育成	健康体操	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方を対象に、健康運動指導士によるすり足予防等、軽体操を実施した。 (年8回延べ204名参加)
	医療講座	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方を対象に、専門医による「口腔衛生について」「頭頸部癌について」講和を実施した。 (年2回延べ33名参加)
	公開講座	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方を対象に、健康講座、国民健康保険制度について等の講座を行った。 (年4回延べ155名参加)
その他	福祉健康フェア	<ul style="list-style-type: none"> 地区社協活動の内容展示パネルを作成し、啓発に努めた。
	北部ふれあいまつり	<ul style="list-style-type: none"> 地区社協の活動内容のパネル展示、炊き出し用具等の災害備品展示。(2,500名参加)

3 ボランティアセンター事業

市内のボランティア活動の拠点として、ボランティアにかかわる相談、連絡、調整、育成をはじめ、市民を対象にしたボランティア体験、各種講座等、ボランティア活動の推進に努めた。また、ボランティア団体への支援や市内福祉団体等からの依頼により、ボランティアをテーマとした福祉講座にも協力した。また、総合福祉保健センターを会場に災害ボランティアセンター立ち上げ訓練(2月6日：71名参加)を実施した。

①□ 相談・活動状況

相談件数	3,298 件
斡旋件数	567 件

②登録状況

ボランティア団体(42 団体)	1,099 名	災害ボランティア保険加入者(24 名)
個人ボランティア	127 名	

合 計	1,226名
-----	--------

○事業の内容等

事業名	開催日	参加者
ボランティア入門講座	6月16日	79名
市民ボランティア体験講座 (前期11コース・後期7コース)	7月11日～7月31日(前期) 1月9日～2月27日(後期)	30名 13名
夏休み福祉講座(7コース)	8月3日～8月24日	23名
災害ボランティア養成講座	11月16日	43名
ボランティア活動スキルアップ講座	2月10日	54名

○講師派遣(ボランティア活動等に関する広報及び啓発)

事業名(依頼先等)	開催日	参加者
子育てサポーター養成講座(こども課)	5月22日	14名
ブックスタート事業(健康増進課)	7月16日	17名
ボランティア合同定例会(健康増進課)	10月28日	40名
福祉講座(中部小学校5年生)	11月17日	児童132名 ボランティア32名
福祉講座(北部小学校5年生)	11月25日	児童51名 保護者55名 ボランティア15名
福祉講座(初富小学校4年生)	1月29日	児童85名 ボランティア24名
福祉講座(初富小学校JRC委員会:手話)	2月9日	児童26名 ボランティア10名

4 在宅サービス事業

(1) ふれあいサービス

高齢者や心身に障がいのある方、子育て中の方が日常生活でお困りのとき「利用会員」となり、地域の中から参加した「協力会員」が家事援助等のサービスを有料で提供する会員制の相互扶助の福祉サービスを実施し、利用会員の自立を目標に、在宅福祉の増進に努めた。

○活動状況

協力会員	登録者数	33名
	活動人数	22名
利用会員	登録者数	61名
	利用人数	39名
延活動利用回数		1,038回
延活動利用時間数		1,654時間

○協力会員の研修会

内 容	開催日
協力会員登録・更新説明会 講演「介護保険改正ポイントと」市内高齢者の状況について	4月6日
調理実習「子どもに喜ばれる食事づくり」 講義「子どもの成長に必要な食事について」	7月24日
講義「子どものいる世帯を支援するために必要な知識について」 実習「子どもとのコミュニケーションを学ぶ」	9月10日
調理実習「お年寄りに喜ばれる食事づくり」 講義「低栄養の予防について」	2月4日
講義「普通救急救命Ⅰの受講」 実習「AEDの取り扱いや心肺蘇生法について」	2月26日
特別養護老人ホーム「コミュニティホームくぬぎ山」施設見学	3月2日

参加延人数73名

(2) 在宅介護者のつどい

在宅で身体の障がいや認知症等により、要介護状態にある家族等を介護している方を対象に、リフレッシュ事業を開催し日頃の介護疲れを癒し、介護者同士の情報交換の場として、月1回実施した。

また、高齢者支援課の協力により健康面などの相談を行った。

(事業内容)

内 容	開催日
レクリエーション（連想ゲーム、クイズ等）	4月8日
介護体験等意見交換	5月19日
バス交流会（松戸市：戸定邸）	6月17日
レクリエーション（ゲーム：ディスコン）	7月10日

ラフターヨガ・ほめかると	8月20日
手工芸教室（押し花のティッシュBOX作り）	9月15日
ミニコンサート（参加者との合唱・楽器演奏等）	10月22日
暮らしに役立つ調理実習	11月19日
クリスマス会（苔玉作り）	12月18日
新年会（和太鼓演奏）	1月20日
紙細工教室（絵手紙づくり）	2月15日
講演会「笑顔のコーチング」	3月18日

参加延人数159名

○地区別「在宅介護者のつどい」

- ・在宅介護の現場で介護する家族の孤立を予防する一助として、西部地区社協の協力により地区懇談会を実施した。（9月24日開催）

5 相談事業

- (1) 心配ごと相談（毎週水曜日 10:00～14:00）

開催日数は48日であり、民生児童委員10名、学識経験者4名で相談にあたった。

- (2) 心の相談（毎週月曜日、第二・第四金曜日 10:00～15:00）

開催日数は59日であり、カウンセラー3名で相談にあたった。

○相談内容・件数

(件)

	相談内容	心配ごと相談		心の相談	
		来談	電話	来談	電話
1	生計問題	9	5	0	0
2	年金問題	1	0	0	0
3	職業・産業問題	1	1	0	0
4	住宅問題	0	2	0	0
5	家族問題	9	13	43	27
6	結婚問題	2	2	0	0
7	離婚問題	2	1	0	0
8	健康・衛生問題	3	4	1	1
9	医療問題	0	0	0	0
10	精神衛生問題	2	0	3	9

11	人権・法律問題	1	0	0	0
12	財産問題	1	0	0	0
13	事故問題	0	0	0	0
14	児童福祉・母子保健問題	0	0	0	0
15	教育・青少年問題	0	0	2	2
16	心身障がい者（児）福祉問題	0	2	0	0
17	母子・父子福祉問題	0	0	0	0
18	老人福祉問題	4	1	0	0
19	苦情問題	1	1	0	0
20	その他	5	7	0	2
	合計	41	39	49	41
	総合計	80		90	

○相談員研修会

相談員を中心に社協職員研修を兼ね日頃の相談業務に役立つ研修会を開催した。

開催日	平成27年12月1日
講師	川村学園女子大学心理相談センター センター長 簗下 成子 氏
内容	講義「対人援助に係る相談員としての心構え」 演習「ケース対応等」

6 資金貸付事業

◎総貸付相談件数 170件(延べ相談件数412回)

(1) 福祉資金（鎌ヶ谷市社協独自の貸付）

・低所得世帯で一時的に生活等が困難な世帯への貸付。(連帯保証人必須)

○貸付金額 40,000円(2件)

○年度末貸付額345,420円<社協95,000円(5件)、社会福祉課取扱い250,420円>

(2) 生活福祉資金（千葉県社協の受託事業）

・低所得世帯、身体障がい者世帯等の自立更生、生活の安定を図るための貸付。

貸付決定総額 4,680,500円(20件)

資 金 種 類		貸付額(円)	件 数
総合支援資金	生活支援費	492,000	2
福祉資金	緊急小口(初回給料6、家賃更新4、その他2)	979,000	12
	特別資金	276,500	1
教育支援資金	教育支援費・修学支度費 (高校4、大学1、専修学校1)	2,933,000	6

※特別資金（生活保護受給世帯等の日常生活上一時的に必要な資金）

- ・台帳の移管事務
 - 転入2世帯（柏市社協(教育1)、船橋市社協(教育2)）
 - 転出2世帯(白井市社協(教育1)、八千代市社協(教育1))
- ・生活福祉資金の償還について〈平成27年4月～平成28年3月〉
 - 償還期間に入っている件数は167件中151件(据置期間16件)
 - 償還計画に基づく、償還率は20.44%

7 地域福祉権利擁護事業

(1) 日常生活自立支援事業

地区社協や民生児童委員、介護事業所や地域包括支援センター、福祉行政機関等に対して、事業の啓発活動を行った。また福祉サービスの利用手続きや、日常生活の金銭管理等を行うことが難しい状況にある高齢者や障がい者等の生活を安定させるための相談受付及び契約業務を次のように取り扱った。

①相談・訪問調査等

区 分	相談受付人数	初期相談・訪問調査 延べ件数
高齢者	11	162
知的障がい者	1	1
精神障がい者	7	64
上記以外	2	42
合 計	21	269

*相談受付人数の内、生活保護受給者10人

②主な相談内訳（複数相談あり）

区 分	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
福祉サービス手続き	4	0	1	0	5

日常的な金銭管理	17	1	13	2	33
書類等預かり財産保全	2	1	0	0	3
保健サービスの手続き	2	0	0	0	2
今後の生活設計	2	0	5	1	8
成年後見制度に関して	4	0	0	1	5
虐待に関して	0	0	1	0	1
合 計	31	2	20	4	57

③利用契約件数

区 分	件 数
高齢者	7
精神障がい者	3
合 計	10
(内,転居で解約)	1

*利用契約件数の内、生活保護7人

④生活支援員登録者数7名（内活動者6名）

⑤関係機関連絡会

日常生活自立支援事業への理解と権利擁護問題に関して、行政及び民間団体と相互に連携し、情報交換を中心とした会議を開催した。（2月23日開催）

（2）成年後見制度の啓発事業

①講演会等

- 9月3日 東部学習センター参加者130名
 - ・ 講談師 神田織音氏による講談「認知症の老姉妹を食い物に」など2話
 - ・ 法テラス千葉弁護士事務所 野原弁護士による講演「法定後見制度・任意後見制度の概要について」
- 11月24日 中央公民館（地区社協関係者学習会として）参加者46名
 - ・ 法テラス千葉法律事務所 加藤弁護士等による「知っておきたい成年後見制度」をテーマとする寸劇を交えた制度説明

②相談会

期日	会場	相談数	相談内容
9月30日	東部学習センター	3	① 後見人の役割・報酬等 ② 障がい者の後見信託利用等 ③ 夫死後の事務等

10月30日	市社協・相談室	3	① 叔父の任意後見契約等 ② 自身の後見業務・死後の遺品整理等 ③ 夫の公正証書遺言・後見業務等
11月26日	市社協・相談室	1	① 自身の公正証書遺言・任意後見契約等

8 善意銀行

○寄付金総額 1,592,922円(50件)

○金銭の払出し (円)

払出先	金額	備考
地区社協	836,343	指定寄付：330,000円 活動助成金：506,343円
ボランティア・福祉団体等	83,000	指定寄付
小中学校	280,000	福祉活動助成金一部
要援助者支援	62,000	災害見舞金等、帰宅旅費
災害用備品等	21,600	防災訓練用：LEDライト
合計	1,282,943	

○物品の払出し

払出先	物品名
すまいる祭り	クリスマス菓子セット400袋
市内福祉施設	タオル200枚

9 受託事業

(1) 福祉作業所友和園(指定管理者制度)

法定事業所(就労継続支援B型と生活介護)の多機能型事業所として、心身に障がいがあるため就職困難な方に対し、社会生活における適応性を高める指導を行った。所員の定員は就労継続支援B型20名(在籍は18名)、生活介護10名(在籍12名)であった。

生活指導の面では、社会自立、身辺自立に必要な基本的な生活習慣が身に付くように、月例行事などいろいろな機会をとおして、知識、技能及び就労態度を養うための指導を行った。また、作業指導の面では、ラベル貼り、菓子箱折り、部品の袋詰め等の簡易作業や地域新聞の配達、公園の清掃、アルミ缶・ペットボトル回収の作業を行った。

また、自主生産として、クッキー、ケーキ、手芸品、紙すき製品を作り販売した。工賃収入として、1,676,830円であった。

その他、作業所の円滑な運営を図るため、保護者会を2回個別支援計画

の確認のため、個別面談を2回実施した。さらに、広報「ゆうわ」を4回発行し、施設内外の情報提供に努めた。

(2) 地域福祉センター（指定管理者制度）

地域福祉活動の拠点となる、総合福祉保健センター内の地域福祉センター（大会議室〈年間利用315回〉、団体活動室〈年間利用368回〉、調理室等）の貸出し業務を行った。

10 共同募金運動

(1) 赤い羽根募金（10月～12月実施） (円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	29 自治会	5,785,945
学校募金	市内小、中学校、高等学校	172,592
法人募金	商店、会社等 282 件	922,309
その他募金	職域、個人、団体等	150,264
合 計		7,031,110

※ 赤い羽根募金は全額、千葉県共同募金会に送金し、翌年度の事業費として約70%の配分を受ける。

(2) 歳末たすけあい募金(12月実施)

○収入 (円)

区 分	募金団体等	募金額
戸別募金	28 自治会	3,532,919
その他募金	法人、個人、団体等	290,408
合 計		3,823,327

○配分 (円)

区 分	配分先	金 額
要援助世帯	83 世帯（生活困窮者へ緊急的支援含む）	2,436,000
市民入所施設	21 施設	630,000
市内施設・団体等	17 件	710,000
合 計	121 件	3,776,000